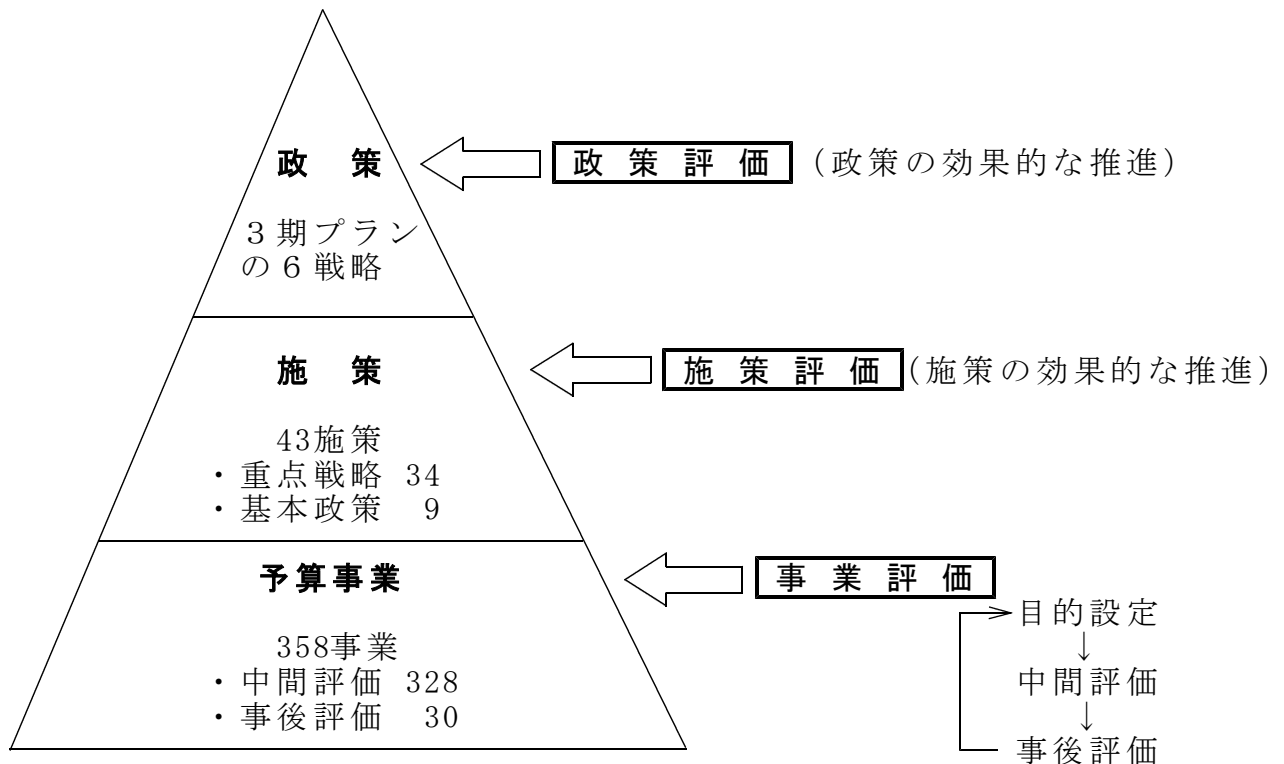


## 令和 2 年度政策等の評価の実施状況について

令和 2 年 9 月 1 7 日  
企 画 振 興 部

各実施機関（知事、教育委員会、公安委員会及び警察本部長）が令和 2 年度（評価対象：令和元年度）に行った政策等の評価の実施状況は、次のとおりである。

### I 政策等の評価の体系と目的



- 政策等の評価は、目標数値に対する達成度などの評価に加え、目的に応じた事業の展開状況や、それぞれの政策を取り巻く外的要因の変化なども併せて、総合的に判断している。
- 実績の評価に当たっては、原則として令和元年度の数値等を使用している。

## Ⅱ 第3期ふるさと秋田元気創造プランの政策等の評価の結果（概要）

### 1 重点戦略（政策）の評価結果の状況

総合評価	件数	重点戦略（政策）名
A	0	
B	2	戦略3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略（3.00） 戦略4 秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略（3.00）
C	4	戦略5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略（2.80） 戦略2 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略（2.75） 戦略6 ふるさと未来を拓く人づくり戦略（2.43） 戦略1 秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略（2.40）
D	0	
E	0	

（注）（ ）内の数字は、戦略を構成する施策の評価結果の平均点  
 施策評価結果の点数 A：4点、B：3点、C：2点、D：1点、E：0点

#### 【政策評価の評価基準】

##### ① 定量的評価

- A：平均点＝4点（全てA）
- B：4点＞平均点≥3点（平均B以上）
- C：3点＞平均点≥2点（平均C以上）
- D：2点＞平均点≥1点（平均D以上）
- E：1点＞平均点≥0点（平均D未満）

##### ② 定性的評価

施策の推進状況等（社会経済状況等を踏まえた場合に特に考慮する必要がある施策の取組状況とその成果など）から判定する。

##### ③ 総合評価

A B C D Eの5段階に判定する。

### 2 重点戦略を構成する施策の評価結果の状況

重点戦略名・施策名	総合評価
戦略1 秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略	C
1-1 社会減の抑制に向けた雇用の場の創出、人材育成・確保	B
1-2 若者の県内定着・回帰と移住の促進による秋田への人の流れづくり	C
1-3 結婚や出産、子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート	D
1-4 女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現	C
1-5 活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくり	A
戦略2 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略	C
2-1 成長分野の競争力強化と中核企業の創出・育成	B
2-2 中小企業・小規模企業者の活性化と生産性向上	B
2-3 国内外の成長市場の取り込みと投資の促進	C
2-4 産業人材の確保・育成と働きやすい環境の整備	B

<b>戦略3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略</b>	<b>B</b>
3-1 秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成	B
3-2 複合型生産構造への転換の加速化	B
3-3 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用	B
3-4 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化	B
3-5 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化	B
3-6 つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興	C
3-7 地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり	A
<b>戦略4 秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略</b>	<b>B</b>
4-1 地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化	B
4-2 「食」がリードする秋田の活性化と誘客の推進	B
4-3 文化の発信力強化と文化による地域の元気創出	B
4-4 「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大	C
4-5 県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備	A
4-6 交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築	B
<b>戦略5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略</b>	<b>C</b>
5-1 健康寿命日本一への挑戦	C
5-2 心の健康づくりと自殺予防対策	B
5-3 医療ニーズに対応した医療提供体制の整備	B
5-4 高齢者や障害者等が安全・安心に暮らせる福祉の充実	B
5-5 次代を担う子どもの育成	B
<b>戦略6 ふるさとの未来を拓く人づくり戦略</b>	<b>C</b>
6-1 自らの未来を主体的に切り拓き、秋田を支える気概に満ちた人材の育成 ★	B
6-2 子ども一人一人に応じた教育の充実と確かな学力の定着 ★	D
6-3 世界で活躍できるグローバル人材の育成 ★	C
6-4 豊かな人間性と健やかな体の育成 ★	B
6-5 子どもの成長を支える魅力的で良質な学びの場づくり ★	A
6-6 地域社会と産業の活性化に資する高等教育機関の振興	B
6-7 地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供 ★	D

(注) ★は教育委員会が評価を行った施策

**【施策評価の評価基準】**

①-1 代表指標の達成率の判定基準

実績値 ≥ 基準値	a	達成率 ≥ 100%
	b	100% > 達成率 ≥ 90%
	c	90% > 達成率 ≥ 80%
基準値 > 実績値	d	80% > 達成率
	e	実績値が前年度より改善 実績値が前年度より悪化
実績値が未判明	n	実績値が未判明

② 定性的評価

施策の取組状況とその成果、外的要因等から判定する。

③ 総合評価

A B C D E の5段階に判定する。

①-2 定量的評価の判定基準

A	代表指標が全て「a」
B	代表指標に「b」があり、「c」以下がない
C	代表指標に「c」があり、「d」以下がない
D	代表指標に「d」、「e」を含む ただし、「E」、「N」に該当するものを除く
E	代表指標が全て「e」
N	代表指標に「n」を含む

### 3 政策評価及び施策評価の結果

#### ■戦略1 秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略

##### 施策1-1 社会減の抑制に向けた雇用の場の創出、人材育成・確保

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
雇用創出数(人)	目標			2,493	2,600	2,772	2,985	
	実績	2,552	2,209	(2,334)	R2.10月判明予定			
	達成率			(93.6%)	—			
出典: 県あきた未来戦略課調べ	指標の判定			(d)	n			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「雇用創出数」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、令和元年度実績値は全体としては未判明であるが、雇用創出数目標値2,600人の約4分の1にあたる700人を目標としている「企業誘致等による雇用」については、企業誘致件数がバブル後最多の16件となったことで、前年度から大幅に増加し887人(対前年度+315人)となることが判明している。そのほか、「起業・創業」で450人(対前年度▲34人)、「漁業分野」で13人(対前年度+3人)、「観光産業」で573人(対前年度+38人)の雇用創出が判明している。構成要素のうち、未判明の「成長産業(輸送機産業、医療福祉関連産業、情報関連産業等)」、「農業」、「林業」における雇用創出数が平成30年度と同程度で推移した場合には、全体として令和元年度目標値を上回ることが見込まれる。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

##### 施策1-2 若者の県内定着・回帰と移住の促進による秋田への人の流れづくり

代表指標①	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
人口の社会減(人)	目標			△3,590	△3,080	△2,560	△2,050	
	実績	△4,100	△4,410	(△3,917)	R2.11月判明予定			H28実績 △4,253
	達成率			(90.9%)	—			
出典: 県調査統計課「年齢別人口流動調査」	指標の判定			(b)	n			

総合評価	評価理由
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「人口の社会減」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、令和元年10月～2年5月の社会増減数の実績(△2,888人)に、未判明である令和2年6月～9月の前年同期値(△293人)を加えた値は△3,181人、達成状況は96.7%で「b」相当であり、就活支援の強化や、移住・Aターン就職に関するきめ細かな相談対応、情報発信等を行った結果、成果指標②「就職説明会等への大学生等の参加者数」や成果指標④「移住者数(県関与分)」、成果指標⑤「Aターン就職者数」が目標を上回るなど、社会減の抑制につながる成果が現れてきている。</li> <li>● 一方で、成果指標①「県内大学生等の県内就職率」や成果指標③「高校生の県内就職率(公私立、全日制・定時制)」が目標値を下回るなど、若年層の県内定着が十分に進んでいるとは言えない状況にある。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>

**施策1-3 結婚や出産、子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート**

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
婚姻件数(組)	目標			3,590	3,660	3,730	3,800	
	実績	3,510	3,311	(3,052)	R2.9月判明予定			
	達成率			(85.0%)	—			
出典:厚生労働省「人口動態統計」	指標の判定			(e)	n			

代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
出生数(人)	目標			5,700	5,800	5,900	6,000	
	実績	5,666	5,396	(5,040)	R2.9月判明予定			
	達成率			(88.4%)	—			
出典:厚生労働省「人口動態統計」	指標の判定			(e)	n			

総合評価	評価理由
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「婚姻件数」、②「出生数」のどちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、速報値は3,161組、達成状況は86.4%で、前年実績値より改善しているものの現状値を下回っているため「d」相当、代表指標②に関しては、速報値は4,696人、達成率は80.9%と、前年実績より悪化しており、現状値を下回っているため「e」相当である。</li> <li>● 市町村や県内企業等との協働により、新婚夫婦や結婚を予定している男女を応援・祝福する「結婚応援パスポート事業」の創設や、あきた子育てふれあいカード協賛店と子育て家庭とのふれあいの場となるイベント「ふれあいカードフェア」を開催するなど、官民協働による結婚から出産・子育てを社会全体で支える機運醸成に向けた取組を進めたほか、あきた結婚支援センターのマッチングシステムをリニューアルし、結婚を希望する独身者の出会いへの支援を強化した。また、国の幼児教育・保育の無償化を踏まえ、従前の保育料助成に加え新たに幼児の副食費を助成するなど、子育ての環境づくりを進めたものの、これらの取組による自然減の抑制に向けた大きな効果はまだ現れてきていない状況にある。</li> </ul> <p>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。</p>

**施策1-4 女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現**

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数(従業員数300人以下の企業)(社)	目標			180	240	300	360	
	実績	64	130	174	206			
	達成率			96.7%	85.8%			
出典:厚生労働省「都道府県別女性活躍推進法に係る一般事業主行動計画策定届出状況」	指標の判定			b	c			

代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数(従業員数100人以下の企業)(社)	目標			285	300	315	330	
	実績	262	287	361	454			
	達成率			126.7%	151.3%			
出典:厚生労働省「都道府県別一般事業主行動計画策定届の届出及び認定状況」	指標の判定			a	a			

総合評価	評価理由
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数」は「c」判定、②「次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数」は「a」判定であり、定量的評価は「C」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>

施策1-5 活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくり								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
社会活動・地域活動に参加した人の割合(%)	目標			50.0	54.0	58.0	62.0	
	実績	42.0	46.6	62.1	57.6			
	達成率			124.2%	106.7%			
出典: 県総合政策課「県民意識調査」	指標の判定			a	a			
総合評価	評価理由							
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「社会活動・地域活動に参加した人の割合」は「a」判定であり、定量的評価は「A」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。</li> </ul>							

戦略1の政策評価結果	
総合評価	評価理由
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施策の評価結果は、「A」1施策、「B」1施策、「C」2施策、「D」1施策（施策の評価結果の平均点は2.40）であり、政策の定量的評価は「C」。</li> <li>■ 施策の評価結果や推進状況などを総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>

## ■戦略2 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略

### 施策2-1 成長分野の競争力強化と中核企業の創出・育成

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
輸送用機械器具製造業の製造品出荷額(億円)	目標			1,220	1,269	1,319	1,372	
	実績	1,124	1,568	(1,423)	R2.9月判明予定			
	達成率			(116.6%)	—			
出典: 県輸送機産業振興室調べ	指標の判定			(a)	n			
代表指標②	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
医療機器関連製造業の製造品出荷額(従業員4人以上の事業所)(億円)	目標			587	611	635	660	
	実績	548	(595)	R2.8月判明予定	R3.8月判明予定			H28実績値 573
	達成率			—	—			
出典: 経済産業省「工業統計調査」	指標の判定			n	n			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「輸送用機械器具製造業の製造品出荷額」、②「医療機器関連製造業の製造品出荷額等」どちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、平成30年度の実績値は1,423億円で、令和元年度の目標値(1,269億円)の112.1%の水準に達しており、マッチング支援による受注拡大やアドバイザーの派遣による企業競争力の向上、近年本県に進出した自動車関連企業と県内企業との取引の活発化等により、令和元年度においても良好な水準を維持しているものと見込まれる。</li> <li>● 代表指標②に関しては、平成30年の速報値は602億円で、令和元年の目標値(611億円)の98.5%の水準に達しており、医療現場ニーズと県内企業とのマッチング支援や、医療福祉機器開発への支援等により増加傾向が続いている。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

### 施策2-2 中小企業・小規模事業者の活性化と生産性向上

代表指標①	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
製造品出荷額等(従業員4人以上の事業所)(億円)	目標			12,883	13,257	13,641	14,037	
	実績	12,153	13,755	R2.8月判明予定	R3.8月判明予定			H28実績値12,353
	達成率			—	—			
出典: 経済産業省「工業統計調査」	指標の判定			n	n			
代表指標②	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
製造品付加価値額(従業員4人以上の事業所)(億円)	目標			5,024	5,169	5,319	5,474	
	実績	4,739	5,772	R2.8月判明予定	R3.8月判明予定			H28実績値 4,761
	達成率			—	—			
出典: 経済産業省「工業統計調査」	指標の判定			n	n			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「製造品出荷額等」、②「製造品付加価値額」どちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、平成30年速報値は13,347億円で、令和元年目標値(13,257億円)の100.7%の水準に達している。また、代表指標②に関しては、平成30年速報値は5,023億円で、令和元年目標値(5,169億円)の97.2%の水準に達している。令和元年度は、米中貿易摩擦や人手不足等の影響により、生産活動の落ち込みが生じた可能性があるものの、中小企業振興条例等に基づき、県内商工団体等と連携しながら、各企業の経営課題の解決や事業戦略の実現に向け、生産性の向上、新商品の開発等の支援施策をきめ細かく実施するなど、企業の活性化と生産性向上に向けた取組が進んでいる。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

**施策 2-3 国内外の成長市場の取り込みと投資の促進**

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
秋田港国際コンテナ取扱量(実入り)(TEU)	目標			55,900	58,600	61,500	64,500	
	実績	50,776	50,678	50,271	51,204			
	達成率			89.9%	87.4%			
出典:県港湾空港課「県港湾統計年報」	指標の判定			e	c			

代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
企業の誘致件数及び誘致済企業の施設・設備の拡充件数(件)	目標			24	24	26	26	
	実績	22	24	24	28			
	達成率			100.0%	116.7%			
出典:県産業集積課調べ	指標の判定			a	a			

総合評価	評価理由
<b>C</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「秋田港国際コンテナ取扱量」は「c」判定、②「企業の誘致件数及び誘致済企業の施設・設備の拡充件数」は「a」判定であり、定量的評価は「C」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>

**施策 2-4 産業人材の確保・育成と働きやすい環境の整備**

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
成長産業等における雇用創出数(人)	目標			1,575	1,670	1,820	2,010	
	実績	1,691	1,355	(1,423)	R2.9月判明予定			
	達成率			(90.3%)	-			
出典:県産業政策課調べ	指標の判定			(d)	n			

代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
若者や女性等の働きやすい環境の整備に取り組む企業数(社)	目標			495	583	671	759	
	実績	330	434	575	725			
	達成率			116.2%	124.4%			
出典:県産業政策課調べ	指標の判定			a	a			

総合評価	評価理由
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「成長産業等における雇用創出数」は「n：未判明」、②「若者や女性等の働きやすい環境の整備に取り組む企業数」は「a」判定であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、判明済みの令和元年度の「起業分(450人)」及び「企業誘致等分(887人)」の合計(1,337人)のみで目標値の80%に達している(平成30年度は67%)。これに、参考値として平成30年度の「成長分野分(367人)」を加えると1,704人となり、令和元年度目標値(1,670人)を上回る水準(対前年度比+281人、+20%)となる。</li> <li>● 少子化や人手不足による全国的な人材獲得競争の中、成果・業績指標②「県内大学生等の県内就職率」が伸び悩んでいるものの、成果・業績指標①「Aターン就職者数」は目標を達成したほか、成果・業績指標③「高校生の県内民間事業所就職率」が15年ぶりの高い水準となるなど、産業人材の確保に向けた取組の成果が現れ始めている。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

**戦略 2 の政策評価結果**

総合評価	評価理由
<b>C</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施策の評価結果は、「B」3施策、「C」1施策(施策の評価結果の平均点は2.75)であり、政策の定量的評価は「C」。</li> <li>■ 施策の評価結果や推進状況などを総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>



### ■戦略3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略

#### 施策3-1 秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
農業法人数(認定農業者)(法人)	目標			670	730	790	850	
	実績	576	609	656	705			
	達成率			97.9%	96.6%			
出典: 県農林政策課「担い手に関する定期報告」	指標の判定			b	b			

代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
担い手への農地集積率(%)	目標			76.0	78.0	80.0	83.0	
	実績	73.2	74.1	(75.0)	R2.10月判明予定			
	達成率			(98.7%)	-			
出典: 県農林政策課「担い手及びその農地利用の実態に関する調査」	指標の判定			(b)	n			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「農業法人数」は「b」判定、②「担い手への農地集積率」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標②に関しては、平成30年度実績で令和元年度目標値の96.2%に達しているほか、既に判明している令和元年度の農地中間管理事業による集積面積は1,927haと、農地集積率の増加は確実である。</li> <li>● また、今後の秋田県の農林水産業を支える新規就業者についても、研修制度等の充実を背景に各分野で増加傾向となっている。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

#### 施策3-2 複合型生産構造への転換の加速化

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
主要園芸品目の系統販売額(億円)	目標			183	196	203	212	
	実績	160	145	156	154			
	達成率			85.2%	78.6%			
出典: JA「秋田県青果物生産販売計画書」	指標の判定			d	e			

代表指標②	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
畜産産出額(億円)	目標			370	387	399	411	
	実績	352	366	(359)	R2.12月判明予定			H28実績値 364
	達成率			(97.0%)	-			
出典: 農林水産省「生産農業所得統計」	指標の判定			(b)	n			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「主要園芸品目の系統販売額」は「e」判定、②「畜産産出額」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、全国的に好天に恵まれ豊作傾向となったことから、夏野菜の販売単価は低めに推移し、その影響により販売額の達成率は78.6%となったが、気象変動の要素を除き、平年並みの単価で試算すると160億円(達成率81.6%)となる。系統販売額はほぼ横ばいとなっている一方で、国が公表している最新の統計である平成30年度生産農業所得統計においては、野菜、果実、花き、きのこ類の産出額の合計は、直近10年で最高の452億円となり、対前年度比では107%と全国2位の伸び率になっている。成果・業績指標①の園芸メカ団地整備地区数の達成率は105.1%となり、目標を上回るペースで生産基盤の整備が進んでおり、園芸品目の作付面積は30年度よりも拡大していることから、産出額は更に増加するものと見込まれる。こうした状況の中、京浜中央市場では、年間を通じて初の「えだまめ出荷量日本一(出荷量345t増)」や「しいたけ販売三冠王(出荷量70t増)」を達成したほか、「夏秋ねぎの出荷量」が2位にワンランクアップするなど、着実に成果が上がっている。</li> <li>● 代表指標②に関しては、平成30年度の達成率は97.0%と高い値となっていることに加え、令和元年度に大規模畜産団地が新たに3箇所で開催(累計41施設: 成果・業績指標②: 達成率93.2%)されるなど、生産基盤の整備が着実に進んだ結果、産出額に占める割合の大きい豚や鶏、肉用牛の飼養頭数が増加しており、更なる上積みが見込まれる。</li> <li>● また、成果・業績指標③の実用化できる試験研究成果の達成率は111.3%となり、基盤整備の面はもとより、技術の面からも、複合型生産構造への転換は着実に進展している。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

### 施策3-3 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用

代表指標①	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
全国に占める秋田米のシェア (%)	目標			5.48	5.54	5.60	5.66	H27実績値は、H23~27 の最高値と最低値を除いた 3年平均 H28実績値 5.49
	実績	5.47	5.40	( 5.95 )	R2.12月判明予定			
	達成率			( 108.6% )	—			
出典：農林水産省「米穀の需給及び 価格安定に関する基本指針」	指標の判定			( a )	n			
代表指標②	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
米の生産費(10ha以上の作付規 模の全算入生産費)(円/60kg)	目標			10,300	10,000	9,600	9,000	H28実績値 10,100
	実績	10,500	10,100	( 10,700 )	R3.5月判明予定			
	達成率			( 96.1% )	—			
出典：県水田総合利用課「生産費調査」	指標の判定			( e )	n			

#### 総合評価

#### 評価理由

- B**
- 代表指標の達成状況については、①「全国に占める秋田米のシェア」、②「米の生産費」はどちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
  - 代表指標①に関しては、主食用米の国内消費量が減少傾向となる中、県産米については、堅調な需要があり、平成30年産米のシェアは5.95%と目標を上回っている。令和元年度産米のシェアは未判明であるものの、事前契約数量は19万tとなり、全国トップクラスの水準である。また、新品種「秋系821」デビューに向けた各種対策のほか、増加する業務用米需要に対応するため、実需者との結びつき強化に対する支援などを実施しており、県産米シェアの拡大に向けた取組が着実に進んでいる。
  - 代表指標②に関しては、平成30年に60kg当たりの生産費が一時的に増加しているが、これは天候の影響により収量が低下したことが原因である。農地集積率の向上とともに経営規模拡大が進んでいるほか、低コスト技術の普及にも取り組んでいることから、面積当たりの生産費は着実に縮減している。令和元年度の60kg当たりの米の生産費は未判明であるものの、28年、29年の10,100円/60kgよりさらに低減することが見込まれる。
  - 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。

### 施策3-4 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化

代表指標①	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
6次産業化事業体販売額(億 円)	目標			158	172	186	200	H28実績値 160 全国45位、東北6位
	実績	143	172	( 174 )	R3.3月判明予定			
	達成率			( 110.1% )	—			
出典：農林水産省「6次産業化総合調査」	指標の判定			( a )	n			

#### 総合評価

#### 評価理由

- B**
- 代表指標の達成状況については、①「6次産業化事業体販売額」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
  - 代表指標①に関しては、直近の平成30年度実績は約174億円で、令和元年度の目標値172億円を達成している。6次産業化サポート体制の充実や異業種連携などが進んでいることから、令和元年度の販売額も順調に増加することが見込まれる。しかしながら、1事業体当たりの事業規模は依然として小さく、特に、農産物加工の販売額については約9百万円と東北平均の6割未満となっており、農家所得の向上に十分結びついておらず、6次産業化への取組をさらに加速していく必要がある。
  - 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。

**施策3-5 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化**

施策3-5 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化								
代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
素材生産量(燃料用含む)(千 m <sup>3</sup> )	目標			1,554	1,576	1,673	1,700	
	実績	1,470	1,484	(1,519)	R2.9月判明予定			
	達成率			(97.7%)	—			
出典:農林水産省「木材統計」、林野庁「木 質バイオマスエネルギー利用動向調査」	指標の判定			(b)	n			
代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
スギ製品出荷量(千m <sup>3</sup> )	目標			651	670	688	706	
	実績	591	634	(640)	R2.10月判明予定			
	達成率			(98.3%)	—			
出典:県林業木材産業課「木材加工業実 態調査」、「木材需給動向観測調査」	指標の判定			(b)	n			
総合評価	評価理由							
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「素材生産量」、②「スギ製品出荷量」どちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、平成30年実績値は1,519千m<sup>3</sup>で、令和元年の目標値（1,576千m<sup>3</sup>）の96.4%の水準に達している。元年の燃料用を含まない「素材生産量」の国の速報値は、対前年比で0.3%増と増加傾向で推移しており、素材生産量は堅調に伸びている。</li> <li>● 代表指標②に関しては、平成30年実績値は640千m<sup>3</sup>で、令和元年の目標値（670千m<sup>3</sup>）の95.5%の水準に達している。木材加工流通企業が行う施設整備や国内外への販路拡大を目的としたプロモーション活動等の実施により、スギ製材品出荷量は元年においても増加していることが見込まれる。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>							

### 施策3-6 つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
海面漁業協同組合員1人当たりの漁業生産額(千円)	目標			3,000	3,050	3,110	3,170	
	実績	2,880	2,821	2,832	2,795			
	達成率			94.4%	91.6%			
出典: 県水産漁港課「漁業生産額調査、海面漁協台帳調査」	指標の判定			d	e			
代表指標②	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
つくり育てる漁業の対象魚種の漁業生産額(億円)	目標			10.1	10.3	10.5	10.7	H28実績値 8.9 全国12(/39)位、東北4位
	実績	9.7	8.9	(8.2)	R3.5月判明予定			
	達成率			(81.2%)	—			
出典: 農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」	指標の判定			(e)	n			

総合評価	評価理由
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「海面漁業協同組合員1人当たりの漁業生産額」は「e」判定、②「つくり育てる漁業の対象魚種の漁業生産額」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、主要魚種で漁業生産量が減少し、単価も前年より低下したことから、前年度より1%減少し、達成率は91.6%となった。 しかしながら、最も高い単価で水産物が取引される東京都中央卸売市場においては、出荷地・秋田の取扱高が前年度より4割増となる約2億8千万円となるなど販売面では好調な動きが見られ、今後、漁業生産額増加につながるが見込まれる。さらには、全国豊かな海づくり大会の開催を通じ、本県の美しい海や、四季折々に水揚げされる多様な魚介類、漁村に芽吹き育まれた伝統文化や食文化など、本県の魅力を全国に広く発信したほか、海づくり大会を契機として県内量販店で地魚の消費を喚起するイベント等が継続して開催されており、県内需要の増加が見込まれる。また、全国的に不漁で平成元年以降で最少の漁獲量だったサケについて、平年並みの漁獲量であったものと仮定した場合には、生産額は2,894千円となり、前年度を上回る水準となる。</li> <li>● 代表指標②に関しては、ハタハタが好調であったものの、サケは全国で特異的に不漁であり、対象魚種の漁業生産量は横ばいになるものと予想される。 しかしながら、対象魚種の放流実績は前年度比で4%増加しているほか、平成30年度に整備が完了した水産振興センター栽培漁業施設において、魚価が高く漁業者からの期待が大きいガザミや、富山県以北で例のないキジハタの種苗生産に取り組んでおり、つくり育てる漁業による資源の維持・増大に向けた取組は着実に進んでいる。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>

### 施策3-7 地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
中山間地域資源活用プラン策定地域数(累積)(地域)	目標			45	50	55	60	
	実績	37	45	49	53			
	達成率			108.9%	106.0%			
出典: 県農山村振興課「元気な中山間農業応援事業実績」	指標の判定			a	a			
代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
水と緑の森づくり推進事業参加者数(累積)(百人)	目標			211	423	635	847	H30年度から「水と緑の森づくり税事業第3期5箇年計画」に基づく取組を開始
	実績	—	—	223	457			
	達成率			105.7%	108.0%			
出典: 県森林整備課「秋田県水と緑の森づくり推進事業実績」	指標の判定			a	a			

総合評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「中山間地域資源活用プラン策定地域数」、②「水と緑の森づくり推進事業参加者数」どちらも「a」判定であり、定量的評価は「A」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。</li> </ul>

戦略3の政策評価結果	
総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施策の評価結果は、「A」1施策、「B」5施策、「C」1施策（施策の評価結果の平均点は3.00）であり、政策の定量的評価は「B」。</li> <li>■ 施策の評価結果や推進状況などを総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

## ■戦略4 秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略

### 施策4-1 地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
観光地点等入込客数(延べ人数)(千人)	目標			33,000	33,500	34,000	34,500	
	実績	31,596	33,282	(34,484)	R2.8月判明予定			
	達成率			(104.5%)	—			
出典: 県観光戦略課「秋田県観光統計」	指標の判定			(a)	n			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「観光地点等入込客数」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、平成30年実績値は34,484千人で令和元年目標値(33,500千人)の102.9%の水準に達している。また、令和元年のゴールデンウィーク中の主要温泉郷及び宿泊施設における1日当たりの観光入込客数は、前年比で15.8%増加していることに加え、首都圏等をターゲットとしたプロモーションの展開による国内旅行客の増加等により成果指標・業績指標①「延べ宿泊者数」が過去5年で最多となった。</li> <li>● 成果・業績指標②「外国人延べ宿泊者数」は、前年比+15,970人泊(+12.9%)となったものの、海外からのチャーター便数の減少等が影響し、目標値を下回るとともに、東北(+25.7%)や全国平均(+22.7%)と比較して低い伸び率にとどまっている。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

### 施策4-2 「食」がリードする秋田の活性化と誘客の推進

代表指標①	年	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
食料品・飲料等製造品出荷額等(億円)	目標			1,260	1,280	1,290	1,300	
	実績	1,205	(1,401)	R2.8月判明予定	R3.8月判明予定			H28実績値 1,284 全国44位、東北6位
	達成率			—	—			
出典: 経済産業省「工業統計調査」	指標の判定			n	n			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「食料品・飲料等製造品出荷額等」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、平成30年速報値は1,347億円で令和元年目標値(1,280億円)の105.2%の水準に達している。また、県内蔵元に対する高品質な清酒づくりへの転換に資する設備導入支援などが功を奏し、清酒課税移出数量に占める特定名称酒の割合が上昇している(令和元年度:47.0%(対前年度比+1.2ポイント))こともあり、令和元年の増加も期待できる。</li> <li>● 「あきた発酵ツーリズム」については、クルーズ船寄港回数の増加も相まって拠点施設への来場者数は増加している反面、拠点施設やその周辺の観光コンテンツを組み合わせたツアーの造成がまだまだ低位にとどまっている。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

### 施策4-3 文化の発信力強化と文化による地域の元気創出

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
文化事業への来場者数(人)	目標			455,000	460,000	465,000	470,000	
	実績	449,311	315,365	465,879	450,445			
	達成率			102.4%	97.9%			
出典: 県文化振興課調べ	指標の判定			a	b			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「文化事業への来場者数」は「b」判定であり、定量的評価は「B」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

### 施策4-4 「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)	目標			54.0	57.0	61.0	65.0	
	実績	49.5	46.9	48.0	50.5			
	達成率			88.9%	88.6%			
出典:県スポーツ推進委員協議会「全県体力テスト・スポーツ実態調査」		指標の判定		d	c			

総合評価	評価理由
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「成人の週1回以上のスポーツ実施率」は「c」判定であり、定量的評価は「C」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>

### 施策4-5 県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
県内高速道路の供用率(%)	目標			90	90	92	92	
	実績	90	90	90	90			
	達成率			100.0%	100.0%			
出典:県道路課調べ		指標の判定		a	a			

総合評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「県内高速道路の供用率」は「a」判定であり、定量的評価は「A」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。</li> </ul>

### 施策4-6 交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築

代表指標①	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
秋田県と県外間の旅客輸送人員数(千人)	目標			5,435	5,479	5,522	5,567	
	実績	5,392	6,015	R2.9月判明予定	R3.8月判明予定			H28実績値 4,940
	達成率			-	-			
出典:国土交通省「旅客地域流動調査」		指標の判定		n	n			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指数の達成状況については、①「秋田県と県外間の旅客輸送人員数」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、北陸地方や西日本の旅行会社への旅行商品造成の働きかけや、航空会社と連携した乗継利用のPR活動等により、新型コロナウイルス感染症の影響が生ずる前の令和2年2月までの秋田空港及び大館能代空港の利用者数は、前年度を上回っていた。</li> <li>● 乗合バス路線については、事業者及び市町村に対する運行費助成や路線再編への支援、地域の関係者が一体となった利用促進に向けた取組などにより必要な路線が確保されている。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

### 戦略4の政策評価結果

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施策の評価結果は、「A」1施策、「B」4施策、「C」1施策(施策の評価結果の平均点は3.00)であり、政策の定量的評価は「B」。</li> <li>■ 施策の評価結果や推進状況などを総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

## ■戦略5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略

### 施策5-1 健康寿命日本一への挑戦

代表指標①-1	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
健康寿命 男性 (年)	目標			71.71	72.21	72.71	73.21	
	実績	71.21	—	—	R3.3月判明予定			
	達成率			—	—			
出典:厚生労働省「厚生労働科学研究班資料」	指標の判定			n	n			

代表指標①-2	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
健康寿命 女性 (年)	目標			74.98	75.43	75.87	76.32	
	実績	74.53	—	—	R3.3月判明予定			
	達成率			—	—			
出典:厚生労働省「厚生労働科学研究班資料」	指標の判定			n	n			

総合評価	評価理由
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①-1「健康寿命 男性」、①-2「健康寿命 女性」どちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、「健康寿命日本一」に向けて、県民一人ひとりの意識改革と行動変容に結びつける様々な取組を、健康づくり県民運動推進協議会を中心に行っている。成果指標②「健康長寿推進員の育成数」は、前年に比較して倍増し、県民運動の推進体制が強化された。また、成果指標③「チャレンジデー参加率」も年々増加するなど、県民の健康意識を高めるための取組は着実に進んでいる。</li> <li>● 一方、成果指標①「要介護2以上の者（65歳以上75歳未満）が被保険者に占める割合」が改善傾向にありながらも、全国値を下回る状況が続いているほか、がんや脳血管疾患の死亡率が高いことなどから、県民一人ひとりの意識改革と行動変容に向けた働きかけを引き続き行っていく必要がある。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>

### 施策5-2 心の健康づくりと自殺予防対策

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
自殺による人口10万人当たり死亡率(人口10万対)	目標			22.4	21.6	20.8	20.1	
	実績	23.8	24.4	(20.3)	R2.9月判明予定			
	達成率			(109.4%)	—			
出典:厚生労働省「人口動態統計」	指標の判定			(a)	n			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「自殺による人口10万人当たり死亡率」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、速報値は20.8、達成状況は103.7%で「a」相当であり、自殺死亡率、自殺者数ともに前年からやや悪化した。ピーク時の平成15年以降からの減少傾向は継続しているとみているが、依然として65歳以上の高齢者の占める割合が高いほか、40歳代の働き盛りの年代が前年より増加している。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>



### 施策5-3 医療ニーズに対応した医療提供体制の整備

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
脳血管疾患による人口10万人当たり年齢調整死亡率(人口10万対)	目標			35.1	33.7	32.3	30.9	
	実績	37.9	37.7	( 35.5 )	R2.9月判明予定			
	達成率			( 98.9% )	—			
出典:厚生労働省「人口動態統計」	指標の判定			( b )	n			

代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)	目標			85.5	83.6	81.7	79.8	
	実績	87.4	83.8	( 80.0 )	R2.12月判明予定			
	達成率			( 106.4% )	—			
出典:厚生労働省「人口動態統計」及び国立がん研究センター調べ	指標の判定			( a )	n			

#### 総合評価

#### 評価理由

- B**
- 代表指標の達成状況については、①「脳血管疾患による人口10万人当たり年齢調整死亡率」、②「がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率」どちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
  - 代表指標①に関しては、速報値は35.0、達成状況は96.1%であり、高齢者医療先端研究センターや救命救急センター等への支援など脳血管疾患の年齢調整死亡率の低下に向けた取組を進めている。
  - 代表指標②に関しては、平成30年実績値は80.0で令和元年目標値と比較して104.3%の達成状況となっており、地域がん診療連携拠点病院等への支援など75歳未満年齢調整死亡率の低下に向けた取組を進めている。
  - 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。

### 施策5-4 高齢者や障害者等が安全・安心に暮らせる福祉の充実

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
介護施設等の介護職員数(人)	目標			22,750	23,300	23,850	24,400	
	実績	20,891	21,228	判明時期未定	判明時期未定			
	達成率			—	—			
出典:厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」	指標の判定			n	n			

#### 総合評価

#### 評価理由

- B**
- 代表指標の達成状況については、①「介護施設等の介護職員数」は「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。
  - 代表指標①に関しては、平成29年度実績値は21,228人であり、令和元年度目標値(23,300人)の91.1%の水準に達している。介護施設等での職場体験の機会提供等による未経験者の介護職への新規就労支援や、介護の資格を持ちながら離職している方を対象とした研修の実施による再就業支援、介護従事者の就労環境の改善に資する介護ロボットの導入支援等による職場定着の促進に取り組んでおり、元年度も介護職員数の増加が見込まれる。
  - 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。

### 施策5-5 次代を担う子どもの育成

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
里親委託児童数(人)	目標			22	25	28	31	ファミリーホームによる措置児童数を含む。
	実績	16	19	25	27			
	達成率			113.6%	108.0%			
出典:県地域・家庭福祉課調べ	指標の判定			a	a			

#### 総合評価

#### 評価理由

- B**
- 代表指標の達成状況については、①「里親委託児童数」は「a」判定であり、定量的評価は「A」。
  - 代表指標①に関しては、目標は達成したものの、令和元年度の里親委託率(乳幼児：28.6%、学童期以降：8.4%、全体：13.2%)は、平成30年度の全国平均(全体：20.5%)を下回っており、元年度で全国最下位を脱したとはいえ、全国下位の水準にある。また、国の社会的養育ビジョンで示されている目標値(乳幼児：75%以上、学童期以降：50%以上)を大きく下回っている。
  - 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。

戦略5の政策評価結果	
総合評価	評価理由
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施策の評価結果は、「B」4施策、「C」1施策（施策の評価結果の平均点は2.80）であり、政策の定量的評価は「C」。</li> <li>■ 施策の評価結果や推進状況などを総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>

## ■戦略6 ふるさとの未来を拓く人づくり戦略

### 施策6-1 自らの未来を主体的に切り拓き、秋田を支える気概に満ちた人材の育成

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
高校生の県内就職率(公私立、 全日制・定時制)(%)	目標			68.0	70.0	72.0	74.0	
	実績	65.0	66.9	(65.3)	R2.12月判明予定			
	達成率			(96.0%)	—			
出典:文部科学省「学校基本調査」		指標の判定		(b)	n			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「高校生の県内就職率」は「n」判定であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、「秋田県高等学校卒業者の進路状況調査(令和2年3月)」における県内就職率は67.7%となっており、達成率は96.7%で「b」相当となっている。高校新卒者の求人倍率が全国的に高い状況下において、関係機関と連携し、地域で活躍する企業の紹介、求人開拓等のきめ細かな取組が進んでいる。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその結果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

### 施策6-2 子ども一人一人に応じた教育の充実と確かな学力の定着

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
授業で自分の考えを発表する機会が よくあると思う児童生徒の割合(小4～中2)(%)	目標			91.4	91.6	91.8	92.0	
	実績	91.0	91.4	91.1	90.4			
	達成率			99.7%	98.7%			
出典:県義務教育課「秋田県学習状況調査」		指標の判定		b	e			

総合評価	評価理由
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「授業で自分の考えを発表する機会がよくあると思う児童生徒の割合」は「e」判定であり、定量的評価は「E」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、目標に僅かに届かないながらも、少人数学習や「秋田の探究型授業」を着実に実施した結果、98.7%と高い達成率を維持している。</li> <li>● 全国学力・学習状況調査では、12回連続で全国トップレベルの成績を収めており、特色ある教育の推進により、確かな学力の定着が見られる。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。</li> </ul>

### 施策6-3 世界で活躍できるグローバル人材の育成

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
英検3級以上相当の英語力を有する 中学3年生の割合(%)	目標			47.0	52.0	57.0	62.0	
	実績	37.1	49.1	48.3	39.1			
	達成率			102.8%	75.2%			
出典:文部科学省「英語教育実施状況調査」		指標の判定		a	d			

総合評価	評価理由
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「英検3級以上相当の英語力を有する中学3年生の割合」は「d」判定であり、定量的評価は「D」。</li> <li>● 応用力が求められる外部試験の結果に基づいた代表指標の実績は目標値を大きく下回ったものの、実践的な英語コミュニケーション能力を育成する上で必要となる基礎基本の定着状況を図る全国学力・学習状況調査では、全国でトップクラスに位置している。</li> <li>● 語学研修などの国際交流や、AGN指定校やSGH指定校等の取組を進めた結果、令和元年度の英検準2級以上相当以上の英語力を有する高校生の割合が53.6%(H30 53.3% 全国3位)と全国的にも高水準にある。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>

### 施策6-4 豊かな人間性と健やかな体の育成

代表指標①	年度	現状値 (H29)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合(小6、中3)(%)	目標			83.6	84.2	84.8	85.4	
	実績	83.0	83.0	89.1	86.0			
	達成率			106.6%	102.1%			
出典:文部科学省「全国学力・学習状況調査」	指標の判定			a	a			
代表指標②	年度	現状値 (H29)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
運動やスポーツをすることが「好き」な児童生徒の割合(小5、中2)(%)	目標			67.0	68.0	69.0	70.0	
	実績	65.6	65.6	66.0	65.9			
	達成率			98.5%	96.9%			
出典:スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」	指標の判定			b	b			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合」は「a」判定、②「運動やスポーツをすることが「好き」な児童生徒の割合」は「b」判定であり、定量的評価は「B」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

### 施策6-5 子どもの成長を支える魅力的で良質な学びの場づくり

代表指標①	年度	現状値 (H29)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
授業の内容がよく分かると思う児童生徒の割合(小6、中3)(%)	目標			84.0	84.0	84.0	84.0	
	実績	83.8	83.8	85.8	86.1			
	達成率			102.1%	102.5%			
出典:文部科学省「全国学力・学習状況調査」	指標の判定			a	a			

総合評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「授業の内容がよく分かると思う児童生徒の割合」は「a」判定であり、定量的評価は「A」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。</li> </ul>

### 施策6-6 地域社会と産業の活性化に資する高等教育機関の振興

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
県内高等教育機関による県内企業等との共同研究・受託研究数(件)	目標			94	96	98	100	
	実績	89	86	102	106			
	達成率			108.5%	110.4%			
出典:県高等教育支援室調べ	指標の判定			a	a			

代表指標②	年度	現状値 (H29)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
県内高卒者の県内大学・短大への進学率(%)	目標			28.8	29.2	29.6	30.0	
	実績	28.4	28.4	27.9	28.8			
	達成率			96.9%	98.6%			
出典:文部科学省「学校基本調査」	指標の判定			e	b			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「県内高等教育機関による県内企業等との共同研究・受託研究数」は「a」判定、②「県内高卒者の県内大学・短大への進学率」は「b」判定であり、定量的評価は「B」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその結果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

### 施策6-7 地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
芸術・文化施設をセカンドスクール的に利用した小・中学生の割合(%)	目標			28.0	29.0	30.0	31.0	
	実績	26.6	23.7	24.3	18.6			
	達成率			86.8%	64.1%			
出典:県生涯学習課調べ		指標の判定		d	e			

総合評価	評価理由
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「芸術・文化施設をセカンドスクール的に利用した小・中学生の割合」は「e」判定であり、定量的評価は「E」。</li> <li>● 生涯学習支援システムへの登録件数が前年度に比べ18.5%伸びたことに加え、アクセス数が前年度に比べ82.8%伸びており、多様な学びの情報を提供することができている。また、生涯学習講座の内容が、地域の実情に合ったテーマや時宜に沿ったテーマを取り上げ、より充実したことから、地域で活躍できる人材を育成することにつながっている。</li> <li>● 「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産候補として推薦されたほか、西馬音内や毛馬内の盆踊りを含む「風流踊」がユネスコ無形文化遺産への提案候補として選定されたことから、観光振興への波及効果が期待されるとともに、文化遺産等の価値の再認識や保存・活用への機運が高まってきている。また、これらについて新聞やテレビで報道されることにより、県民の文化財に対する認識が高まってきている。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。</li> </ul>

### 戦略6の政策評価結果

総合評価	評価理由
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施策の評価結果は、「A」1施策、「B」3施策、「C」1施策、「D」2施策（施策の評価結果の平均点は2.43）であり、政策の定量的評価は「C」。</li> <li>■ 施策の評価結果や推進状況などを総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>

## 4 基本政策を構成する施策の評価結果の状況

基本政策名	施策名	総合評価
基本政策 1 県土の保全と防災力強化	(1) 災害に備えた強靱な県土づくり	B
	(2) 地域防災力の強化	C
基本政策 2 環境保全対策の推進	(1) 地球温暖化防止と循環型社会の形成	B
	(2) 良好な環境と豊かな自然の保全	B
基本政策 3 安全・安心な生活環境の確保	(1) 犯罪や事故のない地域づくり	D
	(2) 暮らしやすい生活環境の確保	C
	(3) 安らげる生活基盤の整備	C
基本政策 4 ICTによる便利な暮らしの実現と地域の活性化	(1) ICT利活用による県民生活の利便性向上	A
	(2) ICT利活用による地域の活性化	A

## 5 基本政策の施策評価の結果

### ■基本政策 1 県土の保全と防災力強化

#### (1) 災害に備えた強靱な県土づくり

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
県管理河川の整備率(%)	目標			46.1	46.3	46.5	46.7	
	実績	45.9	46.0	46.1	46.2			
	達成率			100.0%	99.8%			
出典:県河川砂防課調べ	指標の判定			a	b			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「県管理河川の整備率」は「b」判定であり、定量的評価は「B」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

#### (2) 地域防災力の強化

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
自主防災組織の組織率(%)	目標			79.3	81.6	83.9	86.2	
	実績	68.7	69.6	70.5	71.1			
	達成率			88.9%	87.1%			
出典:県総合防災課調べ	指標の判定			c	c			

総合評価	評価理由
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「自主防災組織の組織率」は「c」判定であり、定量的評価は「C」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>

## ■基本政策2 環境保全対策の推進

### (1) 地球温暖化防止と循環型社会の形成

代表指標①	年度	現状値 (H25)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
県内の温室効果ガス排出量(千トン-CO2)	目標			10,444	10,359	10,274	10,190	H27実績値 10,268
	実績	10,869	R3.1月判明予定	R4.1月判明予定	R5.1月判明予定			
	達成率			—	—			
出典: 県温暖化対策課「秋田県における温室効果ガスの排出状況について」								
				n	n			
代表指標②	年度	現状値 (H27)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
廃棄物の最終処分量(千トン)	目標			331	330	328	327	H28実績値 371
	実績	279	313	(303)	R3.3月判明予定			
	達成率			(108.5%)	—			
出典: 県環境整備課「秋田県産業廃棄物処理実態調査」、環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」								
				(a)	n			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「県内の温室効果ガス排出量」、②「廃棄物の最終処分量」どちらも「n：未判明」であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、最新の統計である平成28年度実績において、令和元年度目標値を下回る水準まで温室効果ガス排出量が抑制されている。また、元年度は、県民を対象とした「あきたエコ&amp;リサイクルフェスティバル」の開催や、温暖化防止活動の必要性や身近で手軽にできる取組について、テレビCMの放送や新たにYouTubeでの動画配信など普及啓発を行い、県民や企業の環境保全意識を高め、地球温暖化防止のための積極的な行動を促すことができた。</li> <li>● 代表指標②に関しては、平成30年度実績値は303千トンで令和元年度目標値(330千トン)の108.2%の水準に達している。さらに、認定リサイクル製品の認定数が30年度よりも増加するとともに、建設業従事者を対象に「事業系廃棄物減量化推進セミナー」を開催するなど、廃棄物の有効利用や発生抑制に向けた取組が着実に進んでいる。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

### (2) 良好な環境と豊かな自然の保全

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
水環境(公共用水域)に係る環境基準達成率(%)	目標			91.9	93.5	95	95	
	実績	88.8	91.5	90.7	89.0			
	達成率			98.7%	95.2%			
出典: 県環境管理課「公共用水域水質調査結果」								
				b	b			

総合評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「水環境(公共用水域)に係る環境基準達成率」は「b」判定であり、定量的評価は「B」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「B」とする。</li> </ul>

## ■基本政策3 安全・安心な生活環境の確保

### (1) 犯罪や事故のない地域づくり

代表指標①	年度	現状値 (H29)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
交通事故死者数(人)	目標			30人以下	30人以下	30人以下	30人以下	
	実績	30	30	42	40			
	達成率			60.0%	66.7%			
出典:県警察本部交通部「交通統計」	指標の判定			e	d			

総合評価	評価理由
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「交通事故死者数」は「d」判定であり、定量的評価は「D」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「D」とする。</li> </ul>

### (2) 暮らしやすい生活環境の確保

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
犬猫の年間殺処分数(頭)	目標			179	0	0	0	
	実績	578	343	373	385			
	達成率			-8.4%	-			
出典:県生活衛生課調べ	指標の判定			d	n			

代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
秋田県HACCP認証延べ件数(件)	目標			140	160	180	200	
	実績	108	119	134	151			
	達成率			95.7%	94.4%			
出典:県生活衛生課調べ	指標の判定			b	b			

総合評価	評価理由
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「犬猫の年間殺処分数」は「n」判定、②「秋田県HACCP認証延べ件数」は「b」判定であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、「譲渡適性のない犬猫」の収容頭数が増加し、目標の達成には至らなかったものの、環境省が全国的な統一を検討している殺処分の定義である「譲渡適性はあるがやむを得ず処分したもの」に該当するのは、令和元年度の殺処分数の約4分の1である45頭にとどまり、前年度の190頭より減少している。これは譲渡頭数が前年度の181頭から381頭に大幅に増加したことが要因であり、平成31年4月に開設した秋田県動物愛護センターの取組が奏功している。また、犬猫譲渡会等の動物とのふれあい事業への参加者も大幅に増加しており、秋田県動物愛護センターの開設が、県民の動物愛護意識向上に寄与しているものと考えられる。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>



**(3) 安らげる生活基盤の整備**

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
下水道等の汚水処理人口普及率(%)	目標			87.1	87.8	88.4	88.9	
	実績	86.1	86.7	( 87.4 )	R2.8月判明予定			
	達成率			( 100.3% )	-			
出典:県下水道課「秋田の下水道(資料編)」	指標の判定			( a )	n			
代表指標②	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
県立都市公園の平均満足度(%)	目標			87.5	87.5	88.0	88.0	
	実績	87.1	84.0	86.1	86.5			
	達成率			98.4%	98.9%			
出典:県都市計画課調べ	指標の判定			d	d			
総合評価	評価理由							
<b>C</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「下水道等の汚水処理人口普及率」は「n：未判明」、②「県立都市公園の平均満足度」は「d」判定であり、定量的評価は「N」。</li> <li>● 代表指標①に関しては、令和2年7月末時点における実績見込みは目標値を上回っている。</li> <li>● 代表指標②に関しては、指定管理者による利用者目線に立ったきめ細かな運営や、クマ出没対策（緩衝帯の設置）を実施したことによる目撃件数の減少（H30：9回→R1：3回）等もあり、平均満足度や達成率が前年度よりも向上している。</li> <li>● 人口減少下においても持続的かつ効率的な生活排水処理を実現するため、市町村等との協働により、「県流域下水道」と「秋田市単独公共下水道」の統合事業などを進めており、成果・業績指標③「生活排水処理場数」は目標を達成している。また、令和元年度に県北地区における生活排水処理から発生する汚泥の広域資源化施設が完成したことにより、今後、汚泥の集約・資源化が本格化し、施設の維持管理等の効率化が期待されるほか、県南地区においても汚泥の資源化事業が進めてられており、持続可能な下水道事業を目指し、全国的にも評価されている「秋田モデル」の取組がより一層進んだ。</li> <li>● 子育て世帯への住宅リフォーム支援や、令和元年度から新たに開始した県内への移住希望者へのリフォーム支援は、子どもと暮らしやすい居住環境づくりや、移住者の快適な生活環境の確保に寄与している。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「C」とする。</li> </ul>							

## ■基本政策4 ICTによる便利な暮らしの実現と地域の活性化

### (1) ICT利活用による県民生活の利便性向上

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
電子申請サービスの申請件数 (件)	目標			5,000	6,000	7,000	8,000	
	実績	4,030	3,739	5,224	6,339			
	達成率			104.5%	105.7%			
出典:県情報企画課調べ		指標の判定		a	a			

総合評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「電子申請サービスの申請件数」は「a」判定であり、定量的評価は「A」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。</li> </ul>

### (2) ICT利活用による地域の活性化

代表指標①	年度	現状値 (H28)	H29	H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	備考
実施されたICTを用いた地域活 性化事業数(累積)(件)	目標			1	2	2	3	
	実績	0	2	3	6			
	達成率			300.0%	300.0%			
出典:県情報企画課調べ		指標の判定		a	a			

総合評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代表指標の達成状況については、①「実施されたICTを用いた地域活性化事業数」は「a」判定であり、定量的評価は「A」。</li> <li>■ 代表指標の達成状況や施策の取組状況とその成果など総合的な観点から評価した結果、総合評価は「A」とする。</li> </ul>

## 6 事業評価

### (1) 中間評価 (対象：継続事業)

評価結果 (事業の妥当性)	件数	
	知事	教育委員会
継続	216	29
改善して継続	48	7
見直し	0	0
休廃止	0	0
終了	27	1
計	291	37

### (2) 事後評価 (対象：終了事業)

評価結果 (事業の妥当性)	件数	
	知事	教育委員会
妥当性が高い	8	2
概ね妥当である	17	3
妥当性が低い	0	0
計	25	5

## 7 公共事業箇所評価 (令和元年度に行った評価)

### (1) 中間評価 (対象：継続事業) (2) 事後評価 (対象：終了事業)

評価結果 (今後の継続・中止)	件数
継続	15
改善して継続	0
見直し	0
中止	0
計	15

評価結果 (事業の妥当性)	件数
妥当性が高い	4
概ね妥当である	1
妥当性が低い	0
計	5

## 8 研究課題評価

### (1) 中間評価 (対象：継続課題) (2) 事後評価 (対象：終了課題)

評価結果 (進捗状況)	件数
計画より大きな成果	1
計画より成果	9
計画どおり	11
努力が必要	0
継続意義は低い	0
計	21

評価結果 (研究成果)	件数
見込みを上回る	2
見込みをやや上回る	1
見込みどおり	11
見込みをやや下回る	0
見込みを下回る	0
計	14

### Ⅲ 公安委員会及び警察本部長が行った政策等の評価の実施状況 (概要)

#### 1 政策評価

(対象：「平成31年秋田県警察運営の基本方針と重点目標」における重点目標のうちの4項目)

##### (1) 評価結果別一覧

評価結果	件数	政 策
A	4	○犯罪の起きにくい社会づくりの推進 ○交通死亡事故の抑止 ○少年非行防止・保護総合対策の推進 ○被害者支援の推進
B	0	
C	0	
D	0	
計	4	

評価結果区分

A：目標達成

B：目標達成が8割以上

C：目標達成が6割以上8割未満

D：目標達成が6割未満

##### (2) 評価の概要（主な評価結果）

評価結果	評価の概要
A	<p>○ 犯罪の起きにくい社会づくりの推進 成果指標：刑法犯認知件数抑止目標達成率 113.7%（抑止目標2,459件に対して認知数2,162件） 秋田県地域安全ネットワークを活用した情報発信や、地域安全活動に対する支援を実施したことで、地域住民による自主防犯パトロール等の地域安全活動が活発化しており、県内の刑法犯認知件数が現行統計方式を採用した昭和21年以降最少を記録するなどしている。刑法犯認知件数抑止目標も達成していることから、「A」と評価。</p> <p>○ 交通死亡事故の抑止 成果指標：高齢死傷者数抑止目標達成率 105.5%（抑止目標425件に対して発生数403件） 高齢者安全・安心アドバイザーが行う交通安全指導等をはじめとする交通安全教育、県民の安全・安心を脅かす悪質性、危険性及び迷惑性の高い違反に重点を置いた交通取締り、計画的な交通安全施設の維持管理推進等の施策を着実に推進した。高齢死傷者数抑止目標も達成していることから、「A」と評価。</p> <p>○ 少年非行防止・保護総合対策の推進 成果指標：非行少年数抑止目標達成率 103.8%（抑止目標110件に対して実績106件） 児童・生徒を対象とした非行・犯罪被害防止教室の開催、大学生少年サポーターによる少年の立ち直り支援活動、スクールサポーターによる学校や地域と連携した非行防止活動など、各種取組を積極的に展開した。令和元年中の県内における非行少年数は106人と抑止目標を達成したほか、少年人口に対する非行少年の比率が9年連続で減少するなど成果が現れており、「A」と評価。</p>

- 被害者支援の推進  
 成果指標：カウンセリング等実施状況 100%（カウンセリング等の実施要望204件について全件実施）  
 診断書経費等の公費負担制度、部内臨床心理士によるカウンセリング、警察署等の被害者支援員の積極的な運用等、犯罪被害者の視点に立った警察活動を推進した。また、「命の大切さ学習教室」の開催など広報啓発活動の充実も図っており、成果指標の数値をあわせて「A」と評価。

## 2 施策評価

### (1) 評価結果別一覧

評価結果	件数	施策
着実に推進	7	【政策：犯罪の起きにくい社会づくりの推進関連】 ○ 地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進 ○ 「秋田県地域安全ネットワーク」の活性化及びこれを基盤とした社会の規範意識の向上 【政策：交通死亡事故の抑止関連】 ○ 高齢者対策を最重点とする総合的な交通事故防止対策の推進 ○ 交通事故抑止に資する交通指導取締りの推進 ○ 安全で快適な交通環境の整備 【政策：少年非行防止・保護総合対策の推進関連】 ○ 非行少年を生まない社会づくりの推進 【政策：被害者支援の推進】 ○ 被害者の視点に立った警察活動の推進
改善を図りながら推進	0	
見直しが必要	0	
計	7	

### (2) 評価の概要（主な評価結果）

評価結果	評価の概要
着実に推進	4つの政策のそれぞれを構成する7項目の施策について、これら施策が着実に推進された結果として、政策目標が達成されていることから、いずれの施策についても上記の評価とした。

## 3 事業評価

(1) **中間評価** (対象：継続事業)

(2) **事後評価** (対象：終了事業)

評価結果 (対応方針)	件数
現状維持で継続	9
見直して継続	0
休廃止	0
計	9

※今年度は対象事業なし

戦略1 秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段: 目標値、中段: 実績値、下段: 達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
【施策1-2】 若者の県内定着・回帰と移住の促進による秋田への人の流れづくり	①県内大学生等の県内就職率	%	45.9 (H28)	42.2	50.0	53.0	56.0	60.0	
					45.3	42.6			
					90.6%	80.4%			
	②就職説明会等への大学生等の参加者数	人	966 (H28)	778	1,000	1,030	1,060	1,090	
					1,228	1,801			
					122.8%	174.9%			
	③高校生の県内就職率(公私立、全日制・定時制)	%	65.0 (H28)	66.9	68.0	70.0	72.0	74.0	
					65.3				
					96.0%				
	④移住者数(県関与分)	人	293 (H28)	314	320	330	340	350	
459					494				
143.4%					149.7%				
⑤Aターン就職者数	人	952 (H28)	1,128	1,000	1,050	1,150	1,300		
				1,134	1,058				
				113.4%	100.8%				
【施策1-3】 結婚や出産、子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート	①合計特殊出生率	-	1.39 (H28)	1.35	1.47	1.50	1.52	1.54	
					1.33				
					90.5%				
	②あきた結婚支援センターへの成婚報告者数	人	211 (H28)	176	215	220	225	230	
					159	162			
					74.0%	73.6%			
	③放課後児童クラブの待機児童数(翌年度5月1日現在)	人	177 (H28)	79	155	117	0	0	
					63				
					159.4%				
	④保育所等の待機児童数(翌年度4月1日現在)	人	41 (H28)	37	21	11	0	0	
65					22				
-109.5%					0.0%				
【施策1-4】 女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現	①県内民間事業所の女性管理職の割合	%	5.2 (H28)	5.4	5.5	5.7	5.9	6.1	
					5.9	5.8			
					107.3%	101.8%			
	②次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業数	社	20 (H28)	22	30	35	40	45	
					24	27			
					80.0%	77.1%			
	③社会貢献に取り組む団体の活動に参加した若者の数	人	-	9,766	10,500	11,500	12,400	13,200	
					12,484	21,280			
					118.9%	185.0%			
	④若者の自立支援を通じた進路決定者数	人	116 (H28)	120	140	150	160	170	
119					101				
85.0%					67.3%				
【施策1-5】 活力にあふれ、安心して暮らすことのできる地域社会づくり	①地域が目指す将来像の実現に向けて元氣ムラ活動を進めている地域コミュニティの数(累積)	集落	776 (H28)	874	1,035	1,160	1,270	1,380	
					911	966			
					88.0%	83.3%			
	②小さな拠点の形成数(累積)	箇所	12 (H28)	12	14	15	17	20	
					17	17			
					121.4%	113.3%			
	③CCRCの導入によるまちづくり取組件数(累積)	件	1 (H28)	1	4	5	6	7	
					1	1			
					25.0%	20.0%			
	④賑わいを創出するリノベーション実績件数(累積)	件	10 (H28)	16	16	19	22	25	
20					31				
125.0%					163.2%				
⑤生活排水処理施設を廃止し流域下水道に接続される処理区数(累積)	処理区	9 (H28)	9	10	11	12	19		
				10	11				
				100.0%	100.0%				

## 戦略2 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
【施策2-1】 成長分野の競争力強化と中核企業の創出・育成	①風力発電設備導入量	kW	74,153 (H28)	15,453	60,000	60,000	60,000	155,000	
					69,040	138,585			
					115.1%	231.0%			
	②情報関連産業における自社商品開発企業数	社	5 (H28)	16	7	7	10	10	
					16				
					228.6%				
	③県の集中的支援による中核企業化の実績	社	5 (H28)	5	5	5	5	5	
					4	3			
					80.0%	60.0%			
【施策2-2】 中小企業・小規模企業者の活性化と生産性向上	①技術指導・相談件数	件	2,830 (H28)	2,685	3,000	3,100	3,200	3,300	
					2,409	2,267			
					80.3%	73.1%			
	②開業率	%	2.7 (H28)	2.8	3.1	3.3	3.5	3.7	
					2.6	2.5			
					83.9%	75.8%			
	③事業承継計画策定件数	件	89 (H28)	128	150	200	200	200	
					267	245			
					178.0%	122.5%			
	④商業・サービス業の県内総生産	億円	11,333 [8,917] (H26)	[9,525]	11,559	11,616	11,674	11,732	プラン策定後、算定基準が変更 [ ]内は、基準変更後の数値
【施策2-3】 国内外の成長市場の取り込みと投資の促進	①海外展開に新たに取り組む企業数	社	9 (H28)	10	9	10	10	10	
					7	9			
					77.8%	90.0%			
	②環境・リサイクル関連対象企業の製造品出荷額等	億円	199 (H28)	287	211	223	235	247	
					477	696			
					226.1%	312.1%			
【施策2-4】 産業人材の確保・育成と働きやすい環境の整備	①Aターン就職者数	人	952 (H28)	1,128	1,000	1,050	1,150	1,300	
					1,134	1,058			
					113.4%	100.8%			
	②県内大学生等の県内就職率	%	45.9 (H28)	42.2	50.0	53.0	56.0	60.0	
					45.3	42.6			
					90.6%	80.4%			
	③高校生の県内民間事業所就職率	%	66.0 (H28)	68.5	69.6	71.3	73.0	74.7	
					67.4	70.6			
					96.8%	99.0%			
	④県内建設業に就職した新規高校卒業業者数	人	160 (H28)	142	180	190	200	210	
					172	131			
					95.6%	68.9%			

### 戦略3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1(H31)	R2(H32)	R3(H33)	
【施策3-1】 秋田の農林水産業を牽引する 多様な人材の育成	①新規就農者数	人	227 (H28)	221	250 225 90.0%	250	260	270	
	②新規林業就業者数	人	133 (H28)	130	155 140 90.3%	155	155	155	
	③新規漁業就業者数	人	10 (H28)	12	10 11 110.0%	10 13 130.0%	10	10	
	④女性起業1組織当たりの販売額(販売額500万円以上の直売組織)	万円	6,078 (H28)	6,380	6,400 6,409 100.1%	6,720 6,421 95.6%	7,050	7,400	
【施策3-2】 複合型生産構造への転換の 加速化	①メガ団地等大規模園芸拠点の整備地区数(累積)	地区	10 (H28)	20	33 33 100.0%	39 41 105.1%	45	50	
	②大規模畜産団地の整備地区数(累積)	地区	30 (H28)	36	40 38 95.0%	44 41 93.2%	48	50	
	③実用化できる試験研究成果(累積)	件	256 (H28)	289	290 318 109.7%	310 345 111.3%	330	350	
【施策3-3】 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用	①ほ場整備面積(累積)	ha	87,685 (H28)	88,515	89,340 89,356 100.0%	90,140 90,162 100.0%	90,940	91,740	
	②水田への作物作付面積(主食用米を除く)	ha	45,142 (H28)	44,400	45,200 37,596 83.2%	45,400 36,917 81.3%	45,600	45,800	
【施策3-4】 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化	①食関連ビジネスに取り組む農業法人数	法人	294 (H28)	294	320 331 103.4%	335 316 94.3%	350	365	
	②企業ニーズに対応するため県が支援して設立された生産者組織数(累積)	組織	1 (H28)	2	3 4 133.3%	4 4 100.0%	5	6	
	③農産物の輸出額	百万円	106 (H28)	133	113 273 241.6%	119 278 233.6%	125	131	
	④農業生産工程管理(GAP)に取り組むJA数	JA	8 (H28)	9	10 10 100.0%	13 10 76.9%	15	15	H29年度末時点のJA単位でカウント
【施策3-5】 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化	①スギ人工林間伐面積	ha	5,152 (H28)	4,703	6,100 5,096 83.5%	6,300	6,400	6,600	
	②再造林面積	ha	240 (H28)	226	280 226 80.7%	320	380	508	
	③新規林業就業者数	人	133 (H28)	130	155 140 90.3%	155	155	155	
【施策3-6】 つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興	①トラフグとキジハタの種苗放流数の合計	万尾	11 (H28)	8	11 4.5 40.9%	13 4.2 32.3%	14	15	
	②漁業者等による加工や鮮度保持等の取組件数(累積)	件	6 (H28)	13	14 17 121.4%	16 18 112.5%	18	20	
	③新規漁業就業者数	人	10 (H28)	12	10 11 110.0%	10 13 130.0%	10	10	
	④拠点漁港における陸揚岸壁の耐震・耐津波化の整備延長(累積)	m	—	—	26 78 300.0%	87 128 147.1%	176	229	
【施策3-7】 地域資源を生かした活気ある農産漁村づくり	①新たに企業や大学等と連携し里地里山の保全活動等に取り組む地域数(累積)	地域	0 (H28)	4	8 5 62.5%	12 11 91.7%	14	16	
	②水と緑の森づくり事業による森林整備面積(累積)	ha	— (H28)	—	900 859 95.4%	1,800 1,752 97.3%	2,700	3,600	
	③ため池整備により解消される被害想定面積(累積)	ha	39,347 (H28)	39,413	39,550 39,538 100.0%	39,800 39,697 99.7%	40,050	40,300	
	④基幹的農業水利施設の整備箇所数(累積)	箇所	108 (H28)	121	128 128 100.0%	138 141 102.2%	148	158	



## 戦略4 秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
【施策4-1】 地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化	①延べ宿泊者数（暦年）	千人泊	3,400 (H28)	3,346	3,500	3,600	3,700	3,800	
					3,505	3,654			
					100.1%	101.5%			
	②外国人延べ宿泊者数（暦年）	人泊	66,950 (H28)	104,660	125,000	150,000	175,000	200,000	
					123,430	139,400			
					98.7%	92.9%			
	③クルーズ船の寄港回数	回	15 (H28)	25	26	28	30	32	
					21	26			
					80.8%	92.9%			
【施策4-2】 「食」がリードする秋田の活性化と誘客の推進	①加工食品・日本酒の輸出金額	千円	537,688 (H28)	637,350	639,000	697,000	761,000	831,000	
					787,565				
					123.2%				
【施策4-3】 文化の発信力強化と文化による地域の元気創出	①「beyond2020プログラム」認証事業数	件	-	7	20	30	40	50	
					37	38			
					185.0%	126.7%			
【施策4-4】 「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大	①海外からのスポーツ合宿等誘致数（累積）	件	6 (H28)	7	12	18	28	33	
					11	19			
					91.7%	105.6%			
	②国体における天皇杯得点	点	989.0 (H29)	989.0	1,000	1,000	1,000	1,000	
78.8%					70.8%				
【施策4-5】 県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備	①県管理国道改良率	%	93.8 (H28)	93.8	93.9	94.0	94.0	94.1	
					93.9	94.1			
					100.0%	100.1%			
【施策4-6】 交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築	①一般乗合旅客自動車運送事業免許キロ数	km	4,146 (H28)	4,151	4,146	4,146	4,146	4,146	
					4,188	4,167			
					101.0%	100.5%			

戦略5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考	
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)		
【施策5-1】 健康寿命日本一への挑戦	①要介護2以上の者（65歳以上75歳未満）が被保険者に占める割合	%	2.13 (H29)	2.13	2.08	2.03	1.98	1.93		
					2.09	2.08				
					99.5%	97.5%				
	②健康長寿推進員の育成数（累積）	人	-	-	128	200	600	1,200	2,000	
						503	1,017			
						251.5%	169.5%			
	③チャレンジデー参加率	%	61 (H29)	61	61	63	65	67	70	
						68	70			
						107.9%	107.7%			
	④特定健診受診率	%	46.5 (H27)	48.6	48.6	70.0	70.0	70.0	70.0	H28実績値： 46.4
⑤がん検診受診率（胃・大腸・肺・子宮頸・乳）	%	20.3~45.9 (H27)	27.1~45.3	27.1~45.3	31.4~47.4	35.1~47.9	38.8~48.4	42.5~48.9	H28実績値： 27.9~44.2	
【施策5-2】 心の健康づくりと自殺予防対策	①自殺者数	人	240 (H28)	242	220以下	210以下	200以下	190以下		
					199					
					109.5%					
	②心はればれゲートキーパーの養成人数	人	1,133 (H28)	2,278	2,278	2,900	3,800	4,700	5,600	
3,785						5,704				
130.5%						150.1%				
【施策5-3】 医療ニーズに対応した医療提供体制の整備	①病院の常勤医師数	人	1,517 (H28)	1,499	1,546	1,563	1,575	1,598		
					1,511	1,495				
					97.7%	95.6%				
	②看護業務従事者数（常勤換算）	人	14,277.1 (H28)	-	-	14,673.7	14,781.1	14,873.4	14,927.5	
						14,429.3	-			
						98.3%	-			
	③訪問診療を実施している診療所・病院数	施設	248 (H27)	-	未判明	254	256	258	260	H28実績値： 232
④回復期病床の数	床	1,301 (H28)	1,322	1,322	1,577	1,715	1,853	1,991		
					1,463					
					92.8%					
【施策5-4】 高齢者や障害者等が安全・安心に暮らせる福祉の充実	①高齢者の社会参加の割合	%	61.6 (H28)	62.6	63.0	64.0	65.0	66.0		
					60.9	57.0				
					96.7%	89.1%				
	②認知症サポーター数	人	78,517 (H28)	90,643	90,643	100,000	110,000	120,000	130,000	
						100,191	111,433			
						100.2%	101.3%			
③手話教室実施校数	校	-	-	15	25	25	25	25		
					26	21				
					104.0%	84.0%				
【施策5-5】 次代を担う子どもの育成	①生活保護世帯の子どもの高校進学率	%	96.2 (H28)	90.6	97.7	98.4	99.2	99.2		
					92.2	96.4				
					94.4%	98.0%				

## 戦略6 ふるさとの未来を拓く人づくり戦略

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1(H31)	R2(H32)	R3(H33)	
【施策6-1】 自らの未来を主体的に切り拓き、秋田を支える気概に満ちた人材の育成	①将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小6、中3）	%	85.6 (H29)	85.6	87.0	88.0	89.0	90.0	
					87.1	86.2			
					100.1%	98.0%			
	②地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合（小6、中3）	%	55.1 (H29)	55.1	57.0	59.0	61.0	63.0	
					62.5	67.3			
					109.6%	114.1%			
	③高校生のインターンシップ参加率（公立）	%	60.6 (H28)	61.2	63.0	64.0	65.0	66.0	
					64.9	64.6			
					103.0%	100.9%			
【施策6-2】 子ども一人一人に応じた教育の充実と確かな学力の定着	①国公立大学希望達成率（公私立、全日制）	%	54.0 (H28)	51.3	56.0	57.0	58.0	59.0	
					52.1	53.3			
					93.0%	93.5%			
	②特別支援教育に関する研修を受講した高校教員の割合	%	66.0 (H29)	66.0	75.0	84.0	92.0	100.0	
					65.3	66.3			
					87.1%	78.9%			
	③就学前教育・保育施設における小学校教育への接続を意識した指導計画の作成率（認可施設）	%	25.7 (H28)	-	65.0	70.0	75.0	80.0	
					75.0	76.0			
					115.4%	108.6%			
	④理科が好きだと思う児童生徒の割合（小4～中2）	%	87.1 (H28)	87.9	87.7	88.0	88.3	88.6	
					86.9	86.4			
					99.1%	98.2%			
	⑤科学技術関係講座等の受講人数	人	4,272 (H28)	4,319	4,445	4,530	4,615	4,700	
					4,641	5,832			
					104.4%	128.7%			
【施策6-3】 世界で活躍できるグローバル人材の育成	①イングリッシュキャンプに参加した児童生徒数	人	740 (H29)	740	755	770	785	800	
					821	624			
					108.7%	81.0%			
	②国際理解講座の実施件数	件	50 (H28)	35	50	50	50	50	
					26	61			
					52.0%	122.0%			
	③外国語情報提供の実施件数	件	351 (H28)	311	264	274	284	294	
					276	278			
					104.5%	101.5%			
【施策6-4】 豊かな人間性と健やかな体の育成	①小・中学生の不登校児童生徒数（千人当たり、国公立）	人	9.1 (H28)	10.8	9.1	9.1	9.1	9.1	
					14.1				
					45.1%				
	②インターネットの健全利用に関する啓発講座等を実施した中学校区の割合	%	51.4 (H28)	75.9	70.0	80.0	90.0	100.0	
					95.7	97.4			
					136.7%	121.8%			
	③特別支援学校中学生と中学生との居住地校交流の実施割合	%	18.4 (H28)	14.9	22.0	24.0	26.0	28.0	
					21.1	19.6			
					95.9%	81.7%			
	④運動部活動における外部指導者の活用率（中・高等学校）	%	30.6 (H29)	30.6	32.0	33.0	34.0	35.0	
					30.0	31.0			
					93.8%	93.9%			
【施策6-5】 子どもの成長を支える魅力的で良質な学びの場づくり	①児童生徒のICT活用を指導することが「できる」「ややできる」とする教員の割合（小・中学校）	%	68.9 (H28)	68.3	72.3	73.3	74.3	75.3	
					71.4				
					98.8%				
	②市町村における統括コーディネーターの配置率	%	-	-	25.0	50.0	75.0	100.0	
					16.0	24.0			
					64.0%	48.0%			
	③地域と連携して防災訓練等を実施する学校の割合（公立、幼・小・中・高・特別支援）	%	41.3 (H28)	46.7	54.0	56.0	58.0	60.0	
					46.7				
					86.5%				
【施策6-6】 地域社会と産業の活性化に資する高等教育機関の振興	①県内大学生等の県内就職率	%	45.9 (H28)	42.2	50.0	53.0	56.0	60.0	
					45.3	42.6			
					90.6%	80.4%			
【施策6-7】 地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供	①生涯学習支援システムにおける生涯学習講座の登録件数	件	1,569 (H28)	1,570	2,100	2,300	2,500	2,800	
					2,351	2,785			
					112.0%	121.1%			
	②県立図書館司書による県立学校図書館への訪問支援等の実施件数	校	10 (H29)	10	20	25	30	30	H28実績値：11
					20	25			
					100.0%	100.0%			
	③国・県指定等文化財の件数	件	758 (H28)	764	767	770	773	776	
					771	770			
					100.5%	100.0%			

## 基本政策 1 県土の保全と防災力強化

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
(1) 災害に備えた強靱な県土づくり	①ため池整備により解消される被害想定面積（累積）（再掲）	ha	39,347 (H28)	39,413	39,550	39,800	40,050	40,300	
					39,538	39,697			
					100.0%	99.7%			
	②想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成件数（累積）	件	0 (H28)	0	8	16	23	30	
1					30				
12.5%					187.5%				
③県内5港湾における津波防災計画を策定した港湾数	港	2 (H28)	2	2	3	4	5		
				2	2				
				100.0%	66.7%				
④橋梁の耐震化率	%	79.4 (H28)	79.9	80.8	81.5	82.2	82.8		
				80.4	81.4				
				99.5%	99.9%				
(2) 地域防災力の強化	①救急救命士運用隊数	隊	71 (H28)	71	73	74	75	76	
					72	74			
					98.6%	100.0%			
	②BCP策定済み市町村数	市町村	13 (H28)	15	19	19	25	25	
17					19				
89.5%					100.0%				

## 基本政策 2 環境保全対策の推進

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
(1) 地球温暖化防止と循環型社会の形成	①県民1人1日当たりのごみ排出量	g	994 (H27)	984	958	949	940	931	H28実績値：984
					(989)				
					(96.8%)				
	②環境あきた県民塾受講者数（累積）	人	1,057 (H28)	1,091	1,140	1,180	1,220	1,260	
1,135					1,186				
99.6%					100.5%				
③県認定リサイクル製品の認定数（累積）	製品	399 (H28)	409	405	408	411	414		
				419	423				
				103.5%	103.7%				
(2) 良好な環境と豊かな自然の保全	①田沢湖のpH（湖心）	-	5.3 (H28)	5.4	5.6	5.8	6.0以上	6.0以上	
					5.4	5.0			
					96.4%	86.2%			
	②狩猟者登録者数	人	1,669 (H28)	1,692	1,800	1,870	1,940	2,000	
					1,700	1,689			
					94.4%	90.3%			
③自然環境学習拠点施設の利用者数	人	10,063 (H28)	9,260	11,300	11,900	12,500	13,100		
				9,757	8,699				
				86.3%	73.1%				

## 基本政策 3 安全・安心な生活環境の確保

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
(1) 犯罪や事故のない地域づくり	①除排雪団体数	団体	30 (H28)	38	44	50	55	60	
					43	46			
					97.7%	92.0%			
	②雪による人的被害者数	人	102 (H28)	173	100人以下	100人以下	100人以下	100人以下	
95					23				
105.0%					177.0%				
③消費者教育による出前講座・教育支援講座、啓発講座等の参加者数	人	9,642 (H28)	9,397	10,000	10,000	10,000	10,000		
				6,526	7,166				
				65.3%	71.7%				
(2) 暮らしやすい生活環境の確保	①動物とのふれあい事業等参加者数	人	2,339 (H28)	6,001	5,000	10,000	11,400	12,800	
					7,280	52,070			
					145.6%	520.7%			
	②食品安全に関する研修会・懇談会等への参加者数	人	1,204 (H28)	592	1,200	1,200	1,200	1,200	
1,016					1,037				
84.7%					86.4%				
(3) 安らげる生活基盤の整備	①景観行政団体数	市町村	6 (H28)	6	6	7	8	10	
					6	7			
					100.0%	100.0%			
	②通学路指定路線における歩道整備率	%	66.6 (H28)	66.8	67.0	67.2	67.5	67.7	
					67.0	67.3			
					100.0%	100.1%			
	③生活排水処理場数	箇所	242 (H28)	238	236	233	230	219	
					235	233			
100.4%					100.0%				
④子育て世帯の住宅リフォーム支援戸数	戸	264 (H28)	250	500	500	500	500		
				590	546				
				118.0%	109.2%				

## 基本政策 4 ICTによる便利な暮らしの実現と地域の活性化

施策	成果・業績指標	単位	現状値	H29実績値	第3期プラン推進期間 (上段：目標値、中段：実績値、下段：達成率)				備考
					H30	R1 (H31)	R2 (H32)	R3 (H33)	
(1) ICT利活用による県民生活の利便性向上	①オープンデータ化した県有データ数（累積）	件	0 (H28)	35	40	60	80	100	
					42	61			
					105.0%	101.7%			